

# 学校支援活動

小田っ子すばい！

味噌が作れたぞく！

小田小学校では、年に一度ファミリー学級と称して、両親はもとより祖父・兄弟も参加して、授業参観の後にお楽しみ会を入れている。そんな中で今年は食に注目し、食材としてとても大事な大豆から味噌を作り、食の大切さを認識させたいとの思いで、ファミリー学級で味噌づくり体験をさせることになった。

勿論、一日だけでできるはずもなく、地元の協育支援員（古川弥生さん・佐藤カズ子さん）の協力で、一週間前から米麴作りを毎日来校していただき、温度管理等子どもたちには難しい作業をお願いした。

学習支援活動1日目の麴菌と蒸した米を混ぜる作業は、緊張した顔をしながらも、あの独特の麴の臭いも「ばあちゃん家でこの臭いがするから・・・！」と平然と楽しくこなしていた。

2日目は出来た米麴に塩を混ぜた。



大豆をミンサーで細かくしている



蒸した米と麴菌をよく混ぜている



最後の仕上げで樽に入れる

3日目、1月20日（日）が上記のファミリー学級で、家族と一緒に大豆をあんな懐かしい形のミンサー（こう呼ぶのだそうだ！）でミンチ状にし、米麴と大豆に1割の塩を入れ、よく混ぜてから桶に詰めて、丁寧に塩でふたをし、出来上がり！！（食べごろは秋！）

家でまだ味噌を作っているとしても、これほど子どもの手を借りることはないだろう。ましてや、味噌は店で買うものと思っている子どもが大多数の中、米麴、大豆、等の食材にも直に手を触れ、臭いを嗅ぐことができ、これこそ地域の力を借りた『協育力』だと、新米協育コーディネーターの感動の初支援でした。

玖珠中学校区コーディネーター

岩尾純子

## 想いを形にする地域づくり

～地域づくり部会講演会～

玖珠地区コミュニティ地域づくり部会は、1月18日（金）「まちづくりアドバイザー」の宿利政和氏（玖珠町古後出身）を講師に、「想いを形にする地域づくり」のテーマで講演会を行い、地区内外から78名の参加がありました。

まちづくりに必要な要素、活性化の考え方や具体例、玖珠町の実態等をスライドを使いながらの講演に、参加者はメモをとりながら熱心に聞いていました。



玖珠自治会館集会室で